

多文化共生事業事例集

年度

R4

団体名

松山市

助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業

事業費総額 2,003 千円

事業名

いっしょにつくる！ まつやま多文化防災事業

概要

多文化理解を深める防災ワークブックと防災訓練プログラムを作成し、それらを活用した防災プログラムを実施した。

事業のポイント

日本人と外国人と一緒に防災について学べる「はなそう！学ぼう！まつやま bosai ワークブック」と避難所をテーマとした「多文化理解を深める防災プログラム」を開発した。

事業の背景・目的

在住外国人向けの日本語教室で、防災訓練を実施する機会があった。しかし、言語の壁に加え、災害を知らない外国人に防災知識を伝えることは想像以上に難しく、日本人側の理解と訓練も不可欠だと痛感した。

そこで、外国人や防災に関わる組織が連携して、外国人と日本人と一緒に学習できる防災教育プログラムを開発し、みんなが防災について学べる仕組みづくりを行うこととした。



にほんご教室での防災講座

事業の詳細

「まつやま bosai ワークブック」

① 日本語教室での防災講座 全2回

まつやま国際交流センターが実施する外国人向けの日本語教室で防災をテーマに学習を行った。にほんご町内会（日本語教師の団体）、防災リーダークラブ（大学生防災士のNPO団体）が講師となり、防災マップを用いた災害リスクの確認、避難所の説明、地震や風水害で気を付けることを学んだ。

② 防災テキストの内容協議

日本語教室をもとに日本人と外国人がコミュニケーションを取りながら防災についてどうしたら学べるかを話し合った。

③ 「はなそう！学ぼう！まつやま bosai ワークブック」

7つのテーマを設け、その中に、10個のワークを盛り込んだワークブックを作成した。

「多文化理解を深める防災プログラム」

① 防災プログラムの内容協議

「避難所」をテーマに日本人と外国人の相互理解を深める防災プログラムの内容を協議した。

② 会場選定、参加者募集

③ 事前打ち合わせ

④ 事前学習会

実災害で公的機関はどんな外国人支援をしたのか、非難に向けた必要な事前準備はどんなものがあるか学習した。

講師：多文化共生マネージャー 矢富 明徳氏

⑤ 防災プログラムの実施 参加者37名

参加団体：在住外国人、留学生、八坂地区自主防災連合会、防災リーダークラブ、愛媛県国際交流協会、愛媛県国際課、松山交際交流協会、松山市観光・交際交流課、愛媛大学、河原学園、八坂公民館、松山市消防局城東支署、松山市防災・危機管理課

⑥ 振り返り

⑦ プログラム手引き、動画制作

プログラム実施の手引きとプログラムを実施するコーディネーター向けの解説動画を制作。



多文化理解を深める防災プログラム



まつやま bosai ワークブック

事業実施における工夫点・事業の成果等

留学生や在住外国人、災害時に外国人支援に携わる行政機関をはじめ、自主防災組織やNPO団体、地元大学など、多種多様な組織と連携して実施できた。また、多文化共生マネージャーで実災害対応経験のある矢富氏にも様々なアドバイスをいただいたことでより具体的な防災プログラムが出来た。

「まつやま bosai ワークブック」やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語版各 500 部作成。

参加関係団体 4 団体

「多文化理解を深める防災プログラム」

参加者 37 名（外国人 9 名、日本人 28 名）

参加関係団体 13 団体

今後の課題・将来に向けての展望等

- ① 外国人と日本人の「防災」を通じた交流機会の創出
地域防災の担い手と外国人が防災を通じて交流することの重要性を認識した。
- ② 公的支援の体制確立
連携の在り方や役割分担について確認する機会を設け、継続して支援の在り方を考える。
- ③ 核となるリーダーの養成
地域住民だけでは対応が難しい場面があるため、知識のある団体に加わってもらい、多文化共生の防災リーダーの養成を進める。
- ④ 継続実施の必要性
日本語教室をはじめ、留学生ガイダンスなどの機会に継続してプログラムを実施する。



多文化理解を深める防災プログラム

事業担当者のふりかえり

- ・ワークブックの作成では、避難所や情報、家での備えについて「わかりやすく伝える」ことに、関係者で頭を悩ませた。「わかりやすく伝える」ことは、今後の課題だと感じた。
- ・多文化理解を深める防災プログラムでは、自主防災組織や大学生防災士のみなさんと外国人のみなさんの交流を図ることができた。普段から顔の見える関係を作ることの大切さを実感した。
- ・国際交流担当や防災担当など、関係機関が一度に集まって研修や訓練をするのは初めてだったので、良い機会となった。今後も継続して備えを進めたい。